

# 合言葉は



# もったいない

新たな生活様式について考えてみよう!



## 今日もお茶碗、一杯分!?

ロスってことは、ムダってこと?



食品ロスとは、「本来、食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食べ物」のことです。

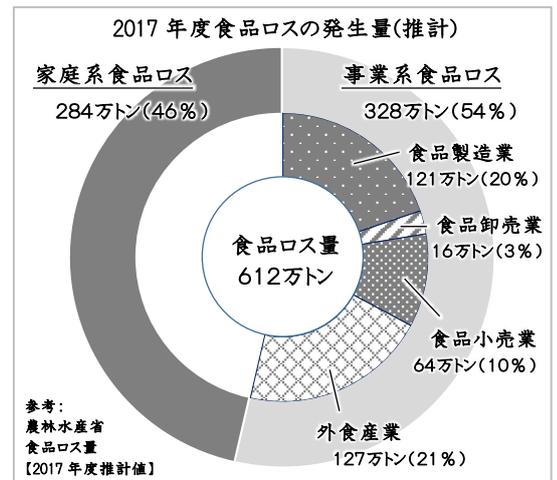
皆さんは、「食べ残し」や「賞味期限が過ぎてしまった」などの理由で、食品ロスを発生させてしまった経験があるのではないのでしょうか。

右グラフのとおり、食品ロスは、国内で約612万トン(事業系328万トン+家庭系284万トン)、国民1人あたりに換算すると、1日にお茶碗一杯分(約132g)が発生していると推計されています。

年間になると1人あたり約48kgになりますが、年間1人あたりの米の消費量は約54kgと推計されているので、米を食べる量と同等程度の食品ロスが国内で発生しているということがわかります。

皆さんは、この現状についてどのようなことを思いますか?

※参考資料 ●総務省人口推計(2017年10月1日現在) ●農林水産省食料需給表(2017年度)



## 食品ロスの問題は、世界規模でもあり、自分事でもある。

皆さんは、SDGs(Sustainable Development Goals)をご存知ですか。

SDGsは、2030年に向けて世界が合意した、世界中の誰一人取り残さない「持続可能な開発目標」のことで、17の目標・169のターゲットで構成されています。

食品ロスは世界共通の課題となっていることから、このSDGsの中でも「食品ロスの量を半減させる」ということが掲げられており、それを受けて日本でも、「2030年度までに、食品ロスの発生量を2000年度比で50%削減していく」という目標を掲げ、自治体・事業者などが啓発をはじめとした、さまざまな取り組みを推進しています。

この目標達成には、消費者である私たち一人ひとりが「食」と向き合い、どのようにしたら「ロスを生まないか」を考え、そして、実行にうつしていくことが欠かせません。

なぜなら、家庭から排出される食品ロスが約半分ということに加え、事業系食品ロスの中には、「外食産業における食べ残し」や「小売業における売れ残り」もあるなど、消費者である私たちの選択や行動によって、食品ロス量を大幅に削減できる可能性があるからです。

世界規模で問題となっている食品ロスは、どのような問題を引き起こすことが考えられるか、皆さんも自分事として考えてみてください。

「もったいない」という言葉が頭に浮かぶのではないのでしょうか。

また、それと同時に考えてほしいことがあります。

世界では、貧困や紛争などによって食糧が得られず、飢えに苦しむ人々が9人に1人の割合でいると言われています。

豊かな食に囲まれていることが当たり前となって、「食」へのありがたみや食品ロスなどの問題を見過しがちです。

私たちは今、「もったいない」をなくすために、何ができるでしょうか。



2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

12 つくる責任 つかう責任



2 飢餓をゼロに



廃棄する時のコスト(税金など)

輸入や物流などの経済的ロス

焼却処分する時のCO<sub>2</sub>発生(地球温暖化)

家計の圧迫

など





# 「もったいない」からの脱出大作戦！

「衣・食・住」は生活の基本で、「食」は私たちの生活に欠かせない存在です。

一人ひとりが「食」と向き合い、自分の生活の中で「食品ロス」をどのように削減していくことができるかについて考え、行動してみましょう！

まず、下の枠内に、場面ごとで自分にできそうな取り組みを考えて、記入してみましょう。

作戦内容を考えたあなたがリーダー！

考えた作戦を家族と共有して、皆さんで楽しく脱出作戦に取り組んでみてください。

いつも使っているゴミ袋のサイズが、小さいサイズになる作戦があるかもしれませんね！

頭を柔らかくして、簡単に考えることが、脱出成功の糸口！？

例えば、「お米は1粒も残さない」という小さなことだって、二宮町の中学生全員が実践すれば、その1粒が約600粒の食品ロス削減に！

もし、皆さんが周囲の人に「お米は1粒も残さないようにしようよ」と呼びかけたとしたらどうなるでしょうか？600粒が、6万粒にも6億粒にもなる可能性がありますね。

小さなことでも、その積み重ねはとてつもない大きなものとなって、食品ロスの大幅な削減に繋がっていくはずです！



## 作戦①【家の中】 ～家の中でできる食品ロス削減の取り組み～



## 作戦②【家の外】 ～給食や外食、買い物の時などにできる食品ロス削減の取り組み～

### ★「食品ロス」を減らすために、自分にできることをやっつけていこう★

中学生の皆さんへ

課題に取り組んでいただき、ありがとうございました。

身のまわりには物があふれ、豊かだと思っていた暮らしから一転、新型コロナウイルスをきっかけに新しい生活様式を考え、実践することが求められるようになりました。

食品ロスのみならず、地球温暖化や海洋汚染などのさまざまな問題に対して、今、世界規模で取り組みが進められています。

皆さんを含む次世代の人々が豊かな暮らしができるよう、あらゆる選択や行動につなげてほしいと思います。



地球温暖化やごみの減量化などに興味のある方は、二宮町のホームページも見てください！

